


請 願 書

平成 31 年 1 月 31 日

横浜市会議長
松本 研 様

請願者 { 住所：横浜市栄区长沼町 195-1
(豊田連合コミュニティセンター)
氏名：栄区連合町内会会長
磯崎 保和 

紹介議員

小松 範昭 
谷田 部 孝一 
竹野 内 猛 
みわ 智恵美 

<件名>

高速横浜環状南線の環境対策について

<請願項目>

高速横浜環状南線の整備に伴い、栄区内に設置予定の換気所（笠間及び公田の2か所）に、環境対策の観点から脱硝装置の設置等、環境に配慮した取組について、事業者である国及び東日本高速道路株式会社に働きかけをすること。

<請願の理由・経緯等>

栄区においては現在、高速横浜環状南線の整備が進められており、現計画では、笠間地区と公田地区にそれぞれ換気所が設置されるものと認識しております。

平成 28 年 1 月には、栄区連合町内会長名で横浜市長あて本件趣旨にかかる要望書を提出しており、同年 4 月に横浜市長から「環境への配慮については、環境影響評価を踏まえ、適切に対応するとともに、換気所周辺の緑化や脱硝装置の設置等、環境に配慮した取組を事業者に働きかけていきます。」との回答をいただきました。

栄区民は現在、豊かな自然環境に恵まれた生活をしておりますが、当該換気所周辺においては、自動車の排出ガスに含まれる窒素酸化物等による大気への影響が特に心配されるところです。

さらに、こうした大気の影響が当該換気所周辺のみならず、区内全域に拡散していくことを強く懸念しております。

本件をどうか栄区全体及び周辺地区の問題として捉えていただき、環境対策の観点から脱硝装置の設置等、環境に配慮した取組について、横浜市会も行政当局を通じ、あらためて事業者への働きかけを強力に推し進めてください。

<添付資料>

当該換気所の位置図